

岐阜生花市場協同組合

生産者に少しでも還元を

新システム導入 商談機能など

岐阜生花地方卸売市 生産者の両者で成り立つる。

場・岐阜生花市場協同 協同組合で、松尾真吾理 組合は岐阜県で唯一の 理事長は生花店を経営する パーソナル情報システム 花き市場として業務を が、生産者に少しでも還 の花きクラウドシステム 行っている。生花店と元したいと取り組んでい を6月1日から導入し



岐阜生花市場外観



同市場セリ風景

た。花き市場向けのパツの収入が増えるようにと 商談機能などメリット ケーシのシステムのう 取り組み、販売金額は上 のほうが大きかったと ち、セリ前ネット販売の がった。 という。また、今までの

商談機能が特に重要して 作業時間削減など役立つ した元の価格より買い手 ている。もともと手書き 報のシステムにしたこ は安く仕入れたいと金額 での業務が多かったが、 とによって、ほかの流 を入力し、システムが自 相対もラベルとバーコー ドでできるようにし、配 心感もあるという。ト 動で返答する。日に3回 達時の荷物確認も行う。 1タルとして良く、岐

返答する時間を設定して 先取りは担当でなくても 価格以上ならば販売。買 ハンディでその場で確認 ムだと感じている。 ても、入札価格を モからかわり、ミスも減 リにはしないが、セリ 上げて2回目で購入 ったという。 大手のように在宅セ

入でできることもあ 新システム導入前は地 額を少しでも上げて、 元企業のシステムを使 生産者に喜んでもら

電話での相談で 用。ウィンドウズ8を使 い、花を送りたくなる なくWEB上で完 ったシステムだったので ような市場にしたいと

結するシステム。 保守ができなくなり、新 語る。そして扱う荷が 電話での問い合わせ たなシステムが必要に。 増えて小売りにも喜ん

せに人が回答する またシステム会社の顧客 でもらいたいという。 と、安い価格でも で生花市場は1社のみだ 実際には岐阜の生産者も

応じたくなるとこ ったので、一から作らな 出してくれるようにな っており、今後さらに

るをシステムが自 ければいけなかった。 近く荷物が増えるこ 動で判断。少して そこでシステムを変更 近の荷物が増えるこ